

1 義務教育学校水橋学園(後期課程)

所在地 富山市水橋中村28

電話 076-481-7670

FAX 076-478-3057

ホームページ [義務教育学校 水橋学園](#)

開校年月日 令和8年(2026)4月9日

校長 河原 弘 幸

検索



QRコード



学校のあらまし

本校は、富山市初の義務教育学校として、令和8年4月に開校しました。校章は、水橋学園の「水」をモチーフにし、先進的で柔軟な教育を行う学園であることを表しています。また、中心の縦線は水橋を流れる白岩川をイメージし、未来の大海原へ向かう子どもたちに「生きる力」を培う学校教育を推進することを示しています。

義務教育学校とは、平成28年度に制度化された学校です。一人の校長、一つの教職員組織で、9年間の教育課程を実施するので、9年間を通じて、同じ教職員組織による児童生徒の授業や他の活動を実施することができるため、継続的で柔軟な教育活動が可能です。また、小・中学校の一体化によって継続的な生徒指導体制が可能となり、一人一人の子どもに全教職員の目が行き届くことにつながります。

本校は、学校選択制によって後期課程から入学することが可能です。

教育目標

【校訓】 自主（すすんで）
協調（ともに）
壮健（たくましく）

【学校教育目標】

「多様な人とつながりながら、
自らの可能性を發揮し、
自己実現を図る子どもの育成」

学校行事

4月 開始式、学習参観
5月 修学旅行（9年）、校外学習（7年）
6月 市中学校総合選手権大会、期末考査、
「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」
7月 保護者懇談会、終業式
8月 始業式
9月 学習参観、体育大会、学校公開日
10月 市中学校新人大会、学習発表会
11月 校外学習（8年）、期末考査
12月 保護者懇談会、終業式
1月 始業式、書初大会
2月 新入生説明会、学年末考査
3月 9年生を送る会、卒業式、修了式

生徒数

(令和8年5月1日現在)

	7年	8年	9年	特別支援	合計
男子	47	37	60	5	149
女子	48	35	33	2	118
合計	95	72	93	7	267
学級	3	2	3	2	10

工夫している本校の取り組み

●水橋学

水橋地区の人・もの・こと・自然・歴史等を視点とした探究的な学習に取り組みます。水橋地域について学ぶことにとどまらず、他地域と比較したり関連づけたりするなど、相対的にとらえることで、実社会についてより総合的に学びます。

●英語学習の充実

様々な授業やそれ以外の場面で英語に慣れ親しむことをねらいとした「イマージョン的教育」を実施します。通常のALTとは別に、「イマージョン担当ALT」を配置したり、マレーシアの学校との国際交流活動を実施したりする予定です。

●「自主タイム」の設定

毎日の朝と帰りに加え、週3回、昼に「自主タイム」の時間を設けます。一日の見通しや目当てを確かめたり、一日のくらしを振り返り、次の日に向けて家庭で取り組むことも含めた課題を決めたりします。さらに、自分で設定した学習や探究活動等にも取り組みます。

●5、6年生を対象とした「プレ部活動」の実施

前期課程の児童が、部活動を自由に選んで体験します。活動人数を確保できることや、生徒に「先輩」としての自覚が促され、責任感が育まれるなどの教育的効果が期待できます。

＜グランドデザイン＞

多様な人とつながりながら、
自らの可能性を発揮し、
自己実現を図る子どもの育成

校訓
自主(すすんで)
協調(ともに)
壮健(たくましく)

ステージⅠ
(1年～4年)
「学び」の基礎・基本を身につける

ステージⅡ
(5年～7年)
主体的に学び、協働する

ステージⅢ
(8年～9年)
自ら実践し、共に高め合う

自己実現

具体的な
教育活動

1.問題解決的な
学習の充実

2.水橋学
水橋を知り、水橋に学び、
水橋に貢献する学習

3.ICTの活用

4.英語学習の充実
1年生からスタート
イメージ的教育

5.段階的な
教科担任制

方向性

発達段階を踏まえた9年間の学びを
充実させる教育課程の編成

一人一人の子どもを主語にする
活動を展開する学校づくり

コミュニティ・スクールによる
地域との連携強化

イエナプラン教育の理念やエッセンス ～すべての人はユニーク～

『自分たちの学校は自分たちでつくる』児童生徒会活動

学校行事や児童生徒会活動は、その内容に合わせて、ステージⅠ(1～4年生)、ステージⅡ(5～7年生)、ステージⅢ(8、9年生)の3つのステージや前期課程(1～6年生)と後期課程(7～9年生)、全校(1～9年生)に分かれて活動することで、いろいろな学年がその行事等における最高学年となり、リーダーシップを発揮しながら企画・運営しています。「自由と責任」が一体のものであることを学びながら、自分たちの学校を自分たちでつくっています。

特徴的な施設で学習活動



＜図書室＞

校舎の中心に2層吹抜けの開放的な空間として整備しており上級生と下級生が交流を深め、互いの学習意欲を高めることができます。

また、読書を楽しんだり、静かに自習したりすることができるスペースが確保されています。

＜みずはしホール＞

スクリーンとプロジェクタを活用することで、学習発表や外部講師による授業等、幅広い学習活動が可能な階段教室です。また、側面には地元やまの杉の木を使ったモザイク壁を設置することで、木の温もり感じられる空間となっています。

